

第60回全日本総合ハンドボール選手権大会
 <戦評記録用紙>

*会場 いしかわ総合スポーツセンター Aコート・Bコート

*スコアー

大阪教育大学 30	13	14	HC名古屋 31
	10	9	
	3	2	
	1	2	
	2	4	
	1	0	

*見出し **両者譲らぬ白熱戦。**
 最後はリーグ勢の意地で名古屋に軍配！
 大教大の健闘が光った試合であった。

名古屋8番鈴木の鮮やかなミドルシュートで動き出した試合は、序盤名古屋ペースで進むも、大教大も名古屋に退場者が出たのをきっかけに1点差とする互角の展開に持ち込み、17分過ぎには8-7と逆転。この間8分無失点に抑えるなど徐々に大教大ペースに。中盤以降は名古屋4番佐藤に当たりが出だし、どちらも譲らぬシーソーゲームとなり、名古屋が1点リードで前半終了。後半に入り、大教大は前半苦しんだ名古屋のプレスディフェンスに対応し出しポストを有効に絡め着実に加点。名古屋もサイド攻撃を有効に使い全くの互角の展開。両者譲らぬまま23-23で延長へ。延長に入っても取られれば取り返す展開は変わらず、前半終了間際に大教大が押し込んで1点リードで終了するも、後半名古屋が再度同点に追いつき第2延長へ突入。疲れが見えてきた大教大の足が鈍ってきたところを名古屋が隙を突きディフェンスの間を割って飛び込み4得点をあげ2点リード。後半残り10秒で大教大が得た同点7MTを名古屋GK近藤がファインセーブし、劇的な幕切れとなり、HC名古屋が勝利をつかんだ。